

令和3年度事業計画

昨年度から世界中を恐怖に包み込んだ新型コロナウイルス、依然として猛威を振るっています。まだまだ終息の兆しが見えていませんが、今年度の予定も着々と決まってまいりました。

今年も5月9日開会式の都民大会を皮切りに、7月9日には東京2020オリンピックの聖火リレーが狛江市内で行われます。オリンピックの開会式は7月23日に、又パラリンピックの開会式は8月24日に開催されます。市町村総合体育大会は9月11日から始まり当体育協会からも多くの加盟団体が参加致します。

新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり、通常の生活に戻ることを期待して今年も積極的に各種大会への参加、運営を進めてまいります。

狛江市体育施設の指定管理者として(株)東京アスレティッククラブとの共同事業では今年も地域社会貢献事業、障がい者スポーツの体験、講習会、研修会を積極的に進め、市民皆スポーツの場を提供してまいります。

今後も当体育協会の加盟団体との絆を深め、信頼と協力を強固にすると共に、日頃からご指導頂いております関係行政と連携を密にして、スポーツの普及振興のため、以下の諸事業を行ってまいります。

(基本方針) 市民皆スポーツを目指して諸事業の推進

1. 狛江市民スポーツ大会（市民大会及びスポ・レク）の運営・実施
2. 加盟団体の組織強化とスポーツ指導者の養成・登録・派遣
3. 東京都市町村総合体育大会への選手派遣
4. 都民大会、都民スポレク大会等の各種スポーツ大会への選手派遣
5. ジュニア育成地域推進事業及びシニアスポーツ振興事業の運営・実施
6. イベント振興事業の運営、実施
7. 指定管理者として体育施設の管理運営
8. 賛助会員並びにサポート会員の拡大推進
9. 理事視察研修会の実施
10. 加盟団体代表者連絡会の開催
11. 市民まつり・狛江市スポーツ事業への参加・協力
12. 体協だよりの発刊及びホームページの活用による広報活動
13. 狛江市における体育施設の充実・活用の検討
14. 狛江市総合型スポーツ・文化クラブ（狛〇くらぶ）への協力
15. 障がい者スポーツに関する調査・研究・協力
16. 東京2020オリンピック、パラリンピックの支援活動
17. 水道局用地など新規スポーツ施設の誘致・開発に向けての運動
18. ガバナンスコードへの対応
19. スポーツ協会への名称変更の検討